

東京都高等学校短水路記録会

1. 主催 東京都高等学校体育連盟 (公財)東京都水泳協会
2. 主管 東京都高等学校体育連盟 水泳専門部
3. 問合せ先 都立立川高等学校 工藤 広幹 TEL 042-524-8195
4. 期 日 3月21日(祝火)
5. 会 場 東京辰巳国際水泳場
6. 競技種目 男女とも同じ。
自由形 50m 100m 個人メドレー 200m
背泳ぎ 50m 100m
平泳ぎ 50m 100m
バタフライ 50m 100m
7. プール設定 短水路 8レーン(2面)
8. 競技方法 競技は(公財)日本水泳連盟競泳競技規則により、種目別、男女別に行う。
9. 競技順序

A面

1. 男子 50m 自由形
2. 男子 200m 個人メドレー
3. 男子 100m 背泳ぎ
4. 男子 50m 背泳ぎ
5. 男子 100m 自由形
6. 男子 100m バタフライ
7. 男子 50m 平泳ぎ
8. 男子 50m バタフライ
9. 男子 100m 平泳ぎ

B面

- 女子 50m 自由形
- 女子 200m 個人メドレー
- 女子 100m 背泳ぎ
- 女子 50m 背泳ぎ
- 女子 100m 自由形
- 女子 100m バタフライ
- 女子 50m 平泳ぎ
- 女子 50m バタフライ
- 女子 100m 平泳ぎ

※ 申込人数によりA面、B面の入れ替えを行う場合あり。

10. 申込規定

(1) 申込資格

- ①学校教育法第1条に規定する高校生で第1学年及び第2学年の生徒に限る。ただし、第1学年を除き在学1年未満の者、および同学年で2回出場は認めない。なお、第1学年においても中途編入者の出場は認めない。
- ②東京都高等学校体育連盟水泳専門部に加盟登録(2022年度)している学校の生徒であること。
- ③(公財)日本水泳連盟に競泳競技者として登録(2022年度)している生徒であること。
- ④今年度6月に実施した東京都高等学校選手権の、個人種目に出場していない生徒であること。
(当日棄権は除く)

※都高校出場選手のエントリーは削除する。その場合、申し込み金の返金は致しかねる。

- ⑤エントリータイムはベストタイムに準じたタイムを用いること。

(2) 制限事項

- ①1名1種目に限る。
- ②1校1種目3名以内とする。
- ③Webでのエントリー締切り後の変更は認めない。

(3) 申込方法

東京都高体連水泳専門部HP>資料・書類>大会参加 申込み方法 (春季・都高校・新人戦・短水路・共通) を参照

(4) 申込金 1名につき 1,000円

※新型コロナウイルス感染拡大や悪天候などで大会が中止になった場合も、大会参加費の返金は行わない。

(5) Web エントリー期間 2月1日(水)～2月27日(月)

(6) 申込書類提出期日 3月1日(水) 必着

11. 開場と入場

(1) 開場については追加要項にて発表する。

(2) 入場方法

- ①本大会は感染症対策の観点から、応援整理券・付添票で入場できない。またコーチ証の発行もしない。
- ②選手は選手票を使用する。(略称印(ゴム印)を必ず押す)
- ③顧問は顧問入場票を使用する。(略称印(ゴム印)を必ず押す)入館できるのは1名のみ。
- ④本大会において入場できる人は当日出場する選手と引率顧問の方1名に加え、もう1名の顧問(以下第2顧問)またはマネージャーなどの選手外生徒の1名の入場ができる。あくまで学校の引率が認められる顧問(部活動指導員を含む)か生徒のみなので、外部指導員やコーチ、卒業生、保護者はこのADカードを使って入場することはできない。

*健康管理表と団体用健康管理表

- ・ **団体用**健康管理表は記載漏れがないように正確に記入し、**引率責任者が入場の際に提出する**。記載に不備がある場合は会場内への立ち入りができない場合がある。
- ・ **健康管理表は引率責任者が、当日責任をもって回収し、後日所属校の管理職へ提出する**。

(3) 選手票・顧問入場票の発行

大会会場への入館は選手票・顧問入場票 所持者のみとする。顧問証は使用できない。選手票・顧問入場票は下記要領で発行する。

- ①選手票…選手各1枚(選手名記入・略称印を必須とし他者への流用は認めない) 顧問入場票・選手外生徒入場票…各校1枚(略称印を必須とし、顧問が使用。他者への流用は認めない)
- ②選手票・顧問入場票の追加発行や再発行はしない。
- ③選手票・顧問入場票は、申し込み団体宛に郵送する。選手票・顧問入場票の不正使用があった場合は、出場停止を含む指導をする。

12. その他

- (1) 選手は自分の種目が終わったら速やかに帰宅すること。(学校ごとのミーティングなどは禁止とする)
- (2) 選手は競技中以外、不織布マスクを着用し、感染防止の徹底に努めること。顧問も同様である。またアルコールなどで、手指消毒や座席消毒もこまめに行うこと。
- (3) メインプールでの練習については、追加要項で発表する。
- (4) 出場チームの選手は、必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
- (5) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。
- (6) 追加要項、会場図およびタイムスケジュールなどを東京都高体連水泳専門部のホームページに掲載するので確認すること。
- (7) 競技映像配信 全競技 YouTube にて映像配信する。視聴方法は追加要項で公表する。
- (8) 本要項の記載内容は変更されることがある。また、注意事項の変更なども考えられるので、高体連水泳専門部のホームページを随時確認すること。